

真宗大分

ご挨拶

大分教区教務所長 寺井 紹道



新年明けましておめでとう
ございます。

お念仏とともに新年をお迎
えのことと、お慶び申し上げ
ます。

私こと、この度十二月一日
付をもちまして、大分教区教
務所長・本願寺別府別院輪番・
藤山教堂主管を拝命いたしま
した。

今日まで、南米教団(十二
年間)、大阪教区教務所・津
村別院(七年間)、安芸教区教
務所・広島別院(八年間)、本

山(八ヶ月)、福井教区教務所・
福井別院(三年間)、本山(一
年間)、長崎教区教務所・長
崎会館(二年八ヶ月)と、お
勤めをさせていただきました。

その中で、多くの念仏者の有
難くも素晴らしい生き様を目
の当りにし、お念仏に出見え
たことを喜ばせていただい
ております今日この頃です。

今回、鏡如上人(第二十二
代大谷光瑞門主)さまのご縁
の深いご当地にご縁いただき
ましたこと心より有難く感謝
しております。

宗祖親鸞聖人は、「ご和讃に
「本願力にあひぬれば
むなしくすぐるひとぞなき
功德の宝海みちみちて
煩惱の濁水へだてなし」

第121号
創刊 昭和41年8月
発行所
大分教区基幹運動
推進委員会
〒874-0920
別府市北浜3丁目6-36
本願寺別府別院内
TEL 0977-22-0146

とお示しです。

二十一世紀は、あらゆるこ
とに問題提起がなされ激動の
世界になる様相を呈しており
ます。本願を信じ念仏申しな
がら、諸行無常の世界・人生
を確かな拠りどころをもって
乗り越えさせていただきましょ
う。

平成二十三年には宗祖親鸞
聖人七五〇回大遠忌をお迎え
いたします。宗祖のお心を体
し、皆様とご一緒にお念仏弘
通、御同朋の社会の実現をめ
ざす基幹運動を推進し、強く
明るく、未来を切り開いてま
いりたく存じます。

若輩ではありますがご法義
繁盛、教区発展のため、誠心
誠意お手伝いさせていただきます。

どうぞ、ご指導ご鞭撻を賜
りますようお願い申し上げます
して、就任のご挨拶とさせて
いただきます。

退任挨拶

前教務所長

杉本 正信

このたび、十二月一日付で
大分教区教務所長、別府別院
輪番、藤山教堂主管を退任し、
和歌山教区教務所長・鷺森別
院輪番として赴任すること
になりました。大分教区にお世
話になって約三年間、長いよ
うで短い在任期間でありまし
た。

とりわけ在任中、「ご消息
披露・記念法座」で各組へ出
向させていただき、皆様方の
ご意見を拝聴しながら、過疎
化・高齢化等さまざまな課題
や問題をかかえる中、それぞ
れの地にあつて一生懸命お念
仏ご相続いただいているすが
たに感動し、有難いご縁を賜つ
たことございました。

親鸞聖人七五〇回大遠忌法
要も近づいてまいりました。
ご消息のお心を体し今日の状
況の中で創意工夫して、各寺
院一ヶ寺一ヶ寺おつとめされ
ますと共に、「ともにいのち

かがやく世界へ」の実現をめ
ざして、基幹運動の充実・推
進に一層お取り組みいただき
ますようお願い申し上げます。
本当にお世話になり有難う
ございました。

合掌

九州若婦大会特集

第17回九州地区若婦人(女
性)大会が、大谷範子総裁さ
まのご臨席のもと、九州各教
区より総勢350名の参加で
開催されました。

すでに「本願寺新報」等で
ご存知の方もおられると思い
ますが、今回は、写真特集で
ご報告いたします。



開会式

梶原陽子さんと季平博昭さんのお二人のご講師は、参加者と触れ合いを大事に、自身の経験を通し私たちに多くのことをお伝えくださいました。スナツプは講演後のお二人をそれぞれ選びました。

総裁さまには、さらに若婦人の皆様との交流を大事にしていたら、記念撮影の輪があちらこちらで見受けられたことでした。初めて大会、仏教行事に参加された若婦人の方が、総裁さまの、温かい交流に感動されて、次回も是非一緒にしたいとの感想が聞かれました。

準備段階から教区仏婦の皆様はじめ、関係の皆様には大変なご心配をおかけいたしましたがおかげでこのように盛大に開催することができました。あつくお礼を申し上げます。なお、講演等をまとめた『報告書』を、現在、作成中です。大会の詳細は、また『報告書』で行いたいと思います。今回は、数枚の写真ですが、大会の雰囲気を感じていただけたら幸いです。

2007(平成19)年10月20(土)～21日(日) 於：別府杉乃井ホテル



梶原陽子先生



季平博昭先生



班別座談



託児風景



夕食会



ワークショップ



18年 30回門信徒大会 寺族婦人会コーラス

瀬戸内海に大きく張出した「国東半島」。その右側(東側)半分に位置するのが、「東国東組」です。市町村合併により、旧、一市三町一村から国東市(一部)と杵築市(一部)の二市から成り立つ組になりました。東国東組は18ヶ寺で構成され、交通の面では北の寺院から南の寺院まで、車で1時間以上はかかりますが、行事の会所等を持ち回りしながら運営しています。「ほとけの里 くにさき」というキャッチフレーズで有

『ほとけの里 くにさき』にお念仏を

各組めぐり
東国東組

名ですが、迷信、俗信、民俗宗教等入り乱れ、浄土真宗のご法義の上から?と思うことが多くありますが、日々各寺院が、いかにしたらお念仏のご法義が伝わるようにと苦慮しているところです。

組の体制は

今年度から親鸞聖人750回大遠忌法要に向けての5年間任期の執行部は60歳代の組長、50歳代の副組長、相談員の3人体制で、世代交代(組各寺院)は、静かに、ゆっくりと進んでいます。

組の教化事業は基幹運動活動計画にそって、主に3団体(組総代会連盟、組仏婦連盟、組仏壯連盟)が結成されており、総代会連盟は年3回の研修会と役員会、その一回は一泊研修が企画され、総代として、ご法義繁盛、護寺発展の研修の中にも法の輪の懇親を深めています。

組仏婦連盟は年4回の研修と役員会でその一回は1日バス研修があり、み法の母としての研修、親睦等行われ、各

寺院の大きな原動力になっています。

組仏壯連盟は3回の研修会と役員会が開催され、仕事柄と日曜日の夕刻より共に食事の後、研修を行なっています。

その他の団体として、住職会が年5回(会議、情報交換等)、寺族婦人会が年4回、また、1回の若者法会を計画して、組内講師による教学等の研修を行なっています。



18年 念仏奉仕団 西本願寺前にて

連研は中断中で、替わるものとして聖典講座(年10回、対象は門信徒、講師は組内寺院、1年の総括として、深川倫雄和上)を数年前まで開催していましたが、現在、連研の復活も含めて検討中です。独自の活動としては、3団体の研修等のまとめとして門



19年 仏婦バス1日研修

信徒大会を開催し、(節目の大会にはご門主様、和上様のご下向を賜る)今年で31回を数えます。その他には門徒講習追甲法要、住職の研鑽の為の布教大会、ピハハラ活動として、国東市民病院で当時、田畑正久先生の提唱で始まった病院内での「仏教講座」の講師団(組内有志寺院)を受け持ちたりしています。

今後の展望

人から人に伝わっていくご法義にとつて、少子高齢化の先進地の東国東組はとても厳しい時代に入っています。少ない子供、青少年、若婦等々少ないなりにそのご法義の火種を消すことなく、しっかりと

と残していくことが大切であり、今秋、開催された若婦九州、大分大会も年齢制限したこと、若い人の掘り起こしという問題をつきつけられた本当に良い機会でした。遅きに失した感はありませんが、東国東組にとつては若い人を目を向けた伝道を展開していかなければと思います。750回大遠忌を契機として「ともにいのち かがやく世界へ」のスローガンのもと、本当にお念仏のかおり漂う「ほとけの里 くにさき」になれば、と願いつつ、僧侶、門信徒がいるいろいろな困難や課題を共有しながら、日々、基幹運動を推進、展開をしていきたいと思っています。(東国東組々相談員記)



19年 住職・総代1泊研修

およろこび記事

【住職就任】

新田 慎一郎

耶馬溪組 西浄寺

(平19・9・23 就任)

脇谷 俊逸

深見組 真徳寺

(平19・10・3 就任)

赤 峯 浩

玖珠組 威徳寺

(平19・11・21 就任)

九州地区門信徒の集い
第35回九州地区真宗青年の集い大分大会



2008年10月18(土)・19日(日)
住吉浜リゾートパークで開催

「九州地区門信徒の集い 第35回九州地区真宗青年の集い大分大会」が杵築市の住吉浜リゾートパークで開催されます。開催テーマは「エコでいこうよ ~その一声がこだまする~」として、悪化する地球環境の中で仏教青年としてどのように関わっていくのか、いのちの働きの中で生かされる私達がどうとらえ、考えていくのかを考える大会にしていく為に、現在大分教区仏青は企画・準備を進めています。

大会シンボルマークは全体を地球に見立て、外周部を青い海、その中に緑の森、中央部には健全な土壌をイメージし、中央部のデザインから順に“e・c・o(エコ)”と読めるようにしました。

この大会は皆様からのご理解とご協力が欠かせません。どうか仏青九州大会を成功させるようよろしくお願い申し上げます。

耶馬溪組 教円寺天井画について

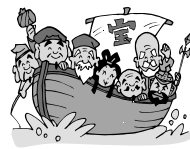
十月十四日(日)、天井画完成祝賀法要が勤まりました。ご門徒の皆様一枚ずつあげていただき、絵は、住職の従



兄弟・佐藤昭英氏に花の絵を百四十四枚描いていただきました。絵が上がると天井が明るくなった様です。ご門徒の皆様には、それぞれの絵を額に入れました。額



の絵と天井の絵を見比べながら嬉しそうに持って帰られました。「孫が、お寺にお参りした時、この絵がおばあちゃんに絵と見てくれると嬉しい」と、言う方もありました。約十年かけての完成に感無量でした。



おくやみ

次の方々がご逝去されましたので、生前のご苦労を偲び謹んで敬弔の意を表します。

- 首藤 常信(平19・8・26)
- 大海組 福正寺 衆徒
- 辛嶋 法慧(平19・9・5)
- 玖珠組 光周寺 前坊守
- 森 モモ工(平19・10・11)
- 玖珠組 光徳寺 前坊守
- 新田 元周(平19・11・28)
- 日田組 照蓮寺 前住職

編集後記

昨年末ご本山で三日間の会議があったおり二日目の午前中が空き時間となり二時間ほど大きな本屋さんですごした。こんなのにんびり本屋さんですごすのはいつ以来かな? と思いつつ、面白そうな本を見つけては立ち読み(実は椅子で座り読み。これは有り難いサービス) 思想・宗教のコーナーも細分化され、へえこんな分け方もあるんだ。と感心 ふと「真実が真実たらしめられるのは、偽たる私との交通関係の中である」の恩師の言葉を思い出した 膨大な数の本に、これほど雑多な主義・主張・思想や宗教があふれていることをあらためて感じた 雑多なものを通り過ぎる中で、本物・真実なるものを求める心がより強力になる。確かにその心が一人一人に育つてくれるようにと思つた 二〇〇八年を迎えました。今年も「真宗大分」をよろしくお願いたします。